

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名【新】事業共創推進拠点整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3724)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 33,988 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補 正 要求額 | 33,988 | 16,994 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,700 | 4,294 |
| 決定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ソフトピアジャパンは、令和8年度に開設30年を迎え、エリア内には企業150社、従業員2,000人と多数の企業が集積している。同エリアがもつ企業集積の強みを生かし、サービスや製品の開発や、スタートアップ企業の育成などを進めるため、企業間連携によるオープンイノベーション(※)を推進する拠点としての役割を担っていく必要がある。

そのため、今まで以上にオープンイノベーションへの取組みを推進し、同エリアから、新たな技術や企業が生まれることで、県内産業の活性化につなげる。

(※) 企業が自社の持つ知識や技術だけでなく、外部の知識や技術も積極的に活用して新しい価値や製品、サービスを創造するイノベーションの手法

(2) 事業内容

- ・ソフトピアジャパン・ワークショップ24の店舗跡地をオープンイノベーションルームとして活用するため、令和8年度に設計を行い、令和9年度に工事を行う。
- ・ソフトピアジャパン・ドリームコアの旧研修室等を技術開発室としてリニューアルし、入居企業を募集することにより産業の集積を促進する。

（３）県負担・補助率の考え方

地域未来交付金を活用し、総額の 1 / 2 の経費を県が負担する。

３ 事業費の積算 内訳

支出

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|---------|
| 工事委託料 | 6,638 | 実施設計委託 |
| 工事請負費 | 27,350 | 工事経費 |
| 合計 | 33,988 | |

※R9 工事請負費（見込）：75,798千円

決定額の考え方

現状の施設においても目的の達成が可能であり、本工事は必要最小限の維持保全工事とはいえないため、計上を見送ります。

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

＜岐阜県経済・雇用再生戦略＞

２「DX」・「GX」推進加速化プロジェクト

＜新たなビジネスモデルの創出支援＞

（１）ソフトピアジャパン・テクノプラザの機能拡充・連携強化

○ IT企業の集積拠点である「ソフトピアジャパン」と、産業のデジタル化や新産業創出を目指すものづくりの総合拠点である「テクノプラザ」との連携を強化し、新たなビジネスモデルの創出に向けそれぞれの強みを生かした総合的な支援を推進する。

（２）国・他県の状況

愛知県では、StationA I にて、オープンイノベーションを推進している。

（３）後年度の財政負担

令和8年度に設計を行い、令和9年度に工事を行う。

（４）事業主体及びその妥当性

県全体のオープンイノベーションの取組を推進するため、県有施設であるソフトピアジャパンの一部を整備することから、県が事業主体となる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ソフトピアジャパンエリアがもつ企業集積の強みをいかし、サービスや製品の開発や、スタートアップ企業の育成などを進めるため、企業間連携によるオープンイノベーション（※）を推進する拠点として、令和9年度までにオープンイノベーションルームを設置する。

（※）企業が自社の持つ知識や技術だけでなく、外部の知識や技術も積極的に活用して新しい価値や製品、サービスを創造するイノベーションの手法

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R7年度 実績 | R8年度 目標 | R9年度 目標 | 終期目標 (R10) | 達成率 |
|-------------|---------------|------------|------------|------------|---------------|-----|
| 企業間のマッチング件数 | - | - | 50 | 75 | 100 | - |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和4年度 | <div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p> |
| 令和5年度 | <div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p> |
| 令和6年度 | <div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
- ・他の成果を上げているイノベーション施設を参考にしながらリノベーションを行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|---|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | オープンイノベーション創出事業 【産業デジタル推進課】 |
| 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など | 本事業でオープンイノベーション事業を実施するための拠点を設置し、「オープンイノベーション創出事業」でソフト面の事業を展開する。 |